

障がい者の社会参加をアートで応援！ 大府市庁舎内に「ギャラリーparart」を設置・ 市職員用名刺にパラアートデザインを採用します！

大府市では、障害者週間（12月3日～9日）に合わせて、市庁舎内に障がい者が描いたパラアートを常設展示する「ギャラリーparart（ぱらーと）」を設置するとともに、職員用名刺のデザインにパラアートを採用し、職員がアートの魅力を発信します。

これまで、市内外の企業や団体などと連携し、アート展示やワークショップの開催、ノベルティグッズの制作などを進め、障がい者の創作活動や社会参加を応援してきました。今後もアートを通して当事者の活動を後押しし、広く障がいへの理解啓発を進めます。

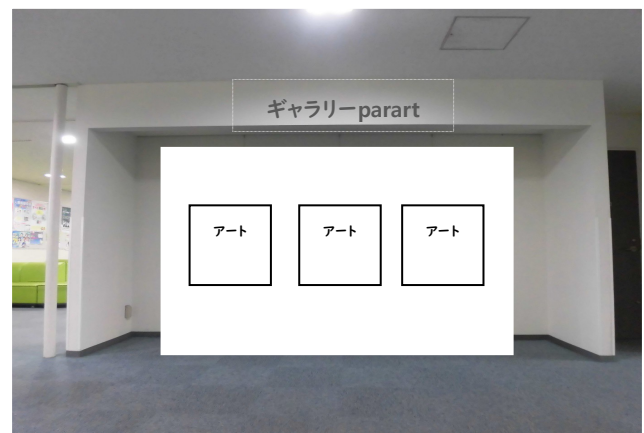
■常設展示「ギャラリーparart」の概要

身近にパラアートを鑑賞できる場所として市庁舎内にギャラリーを設置します。ギャラリーの看板は、下書き無しのフリーハンドで文字を切り出す、鈴置隆志さん（すずおき・たかし、若草町）が制作したものを採用します。

場所／大府市役所 1階 南玄関前
（大府市中央町 5-70）

愛称／「ギャラリーparart」

※「para」と「art」を組み合わせた造語
スペースの概要／約 高さ 2.2m×幅 3.3m
展示／市内外で創作活動を行うパラアーティストの作品を年 4 回、入れ替えて展示



ギャラリーparartのイメージ

※令和5年度は、地域活動支援センターおおぶ（半月町 3-293）の利用者でパラアーティストの山本みずきさん、竹澤成和さん（たけざわ・しげかず）、榊原幸徳さん（さかきばら・ゆきのり）の作品を順に展示予定。

【除幕式】

日時／令和5年12月5日（火）午前9時40分～午前9時55分

場所／「ギャラリーparart」前（大府市中央町 5-70）

参加者／山本みずきさん（アートの作者）、鈴置隆志さん（ギャラリーの看板を制作）
岡村秀人市長、山内健次副市長

■職員用名刺の概要

デザイン／市内の障がい福祉施設を利用する11人の障がい者が、大府市への思いを込めて描いた花びらをグラフィックデザイナーの箕浦希奈さん（みのうら・きな）がデザイン化したもの。

※令和5年7月に地域活動支援センターおおぶ利用者11人がワークショップに参加し、箕浦さんが講師を担当。「大府市の良いところ、住み続けたい市」のイメージを花びらで表現した。

使用開始／令和5年12月8日（金）

使用方法／職員が100枚（1,300円）で名刺を購入し使用します。

職員用名刺のイメージ



（横書き）



（縦書き）

【問い合わせ先】

大府市高齢障がい支援課

担当：津田 友理（つだ・ゆり）

電話：0562-85-3558 FAX：0562-47-3150 メール：kourei-shougai@city.obu.lg.jp